資料１

高齢者の状況～介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果から

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的として実施しているものです。

１　家族構成について

（１）家族構成

家族構成は、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 37.3%と最も高く、これに「１人暮らし」（17.4%）を加えた〈夫婦のみ世帯〉が 54.7%となっています。

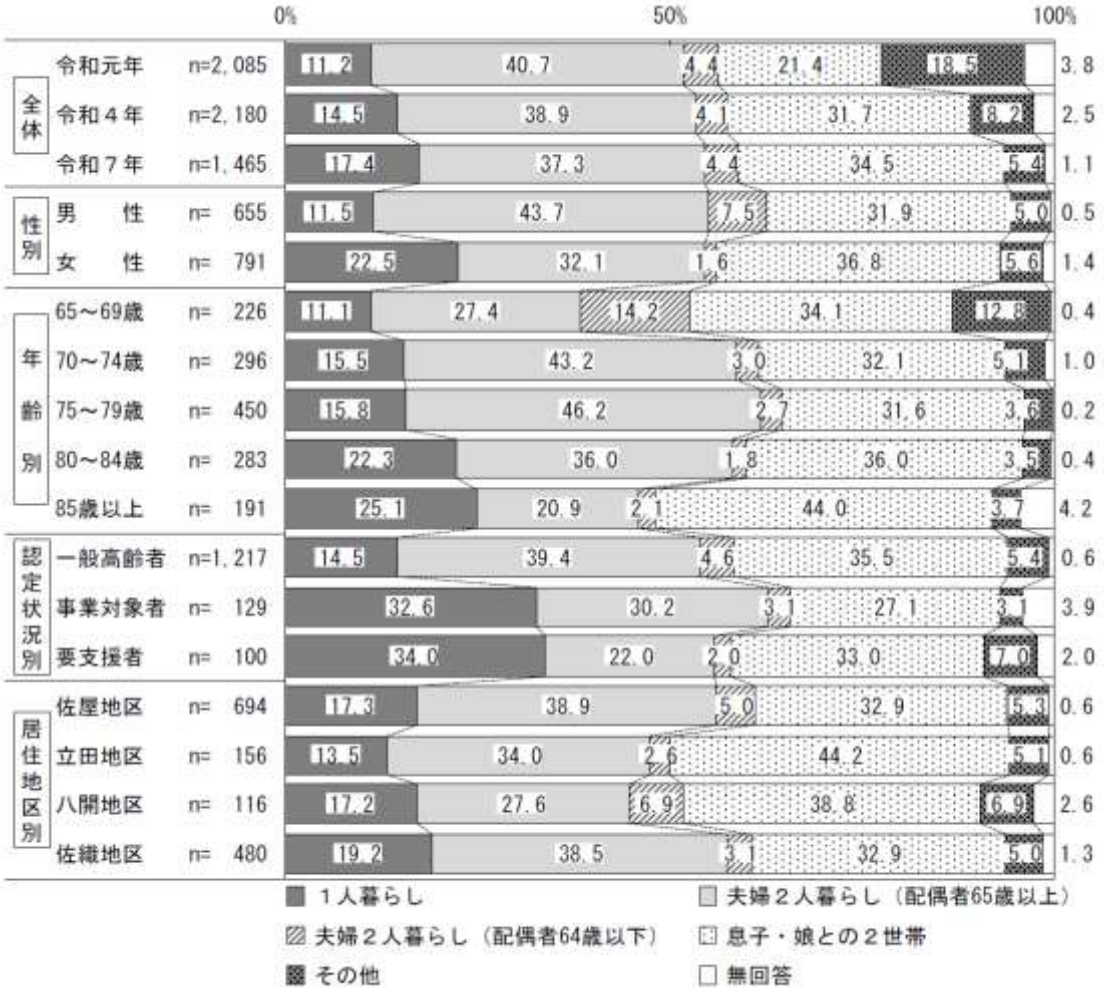
年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「１人暮らし」が上昇し、85 歳以上では 25.1%となっています。

認定状況別にみると、事業対象者および要支援者は「１人暮らし」が 30%を超える高い割合となっています。

居住地区別にみると、立田地区は「息子・娘との２世帯」が 44.2%の高い割合となっています。

「その他」として図表１－２の内容が記載されていました。

図表１―１　家族構成



図表１―２　家族構成（その他）

・夫婦、親　13件	・孫
・夫婦、親、子　11件	・夫婦、息子の嫁、孫
・子ども、孫　7件	・弟
・３世帯　6件	・子ども夫婦、孫、ひ孫
・姉妹　3件	・子ども夫婦と長男、娘の実母
・夫婦、孫　3件	・姪
・夫婦、（義）妹　2件	・養子夫婦とその子ども
・母親	

２　外出について

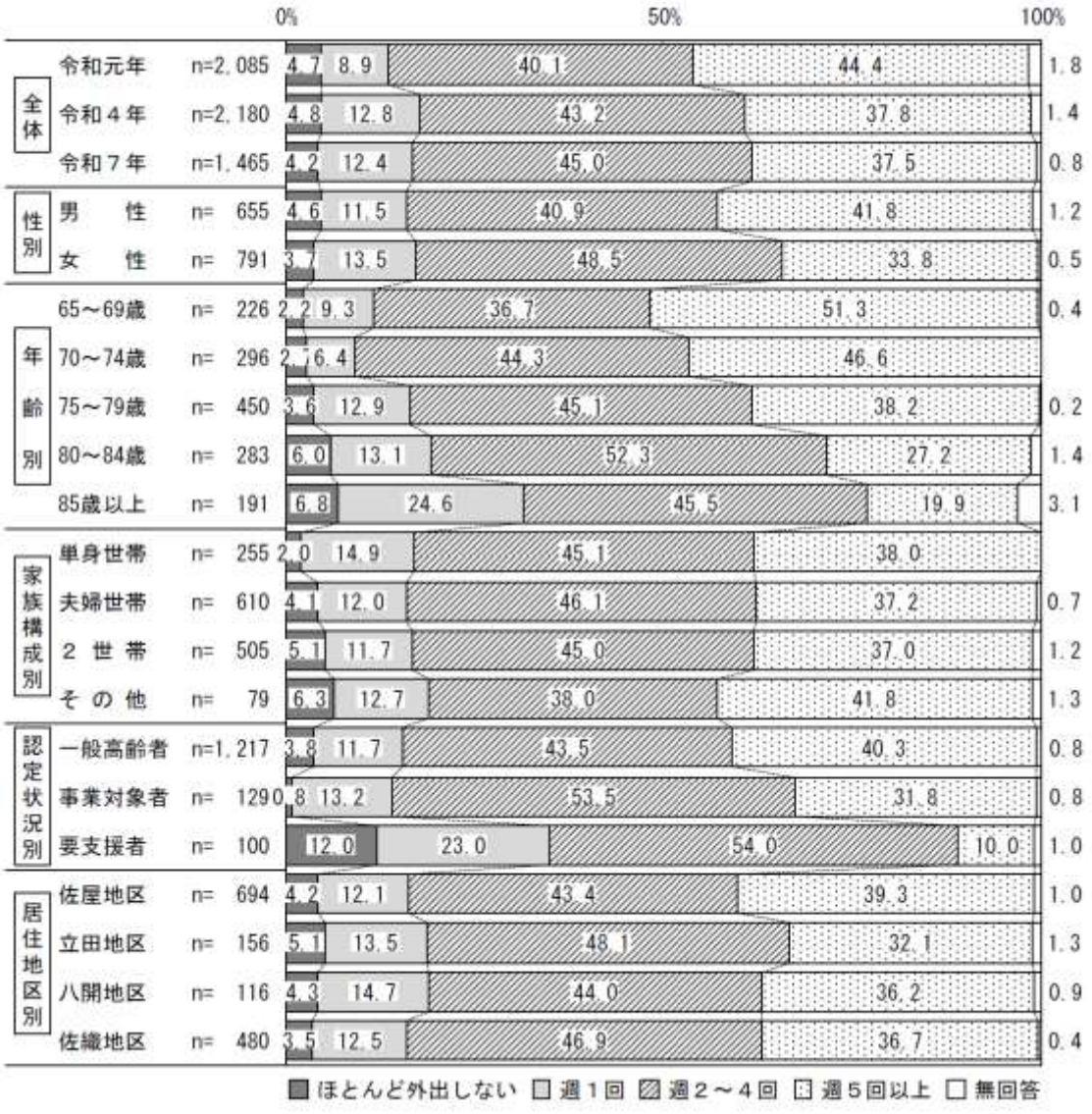
（１）外出頻度

外出頻度をたずねたところ、「週２～４回」が 45.0%と最も高く、次いで「週５回以上」が 37.5%の順となっています。その一方で、「ほとんど外出しない」が 4.2%あり、これに「週１回」を加えた〈週１回以下〉が 16.6%となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい外出頻度は低下する傾向にあり、85 歳以上になると〈週１回以下〉が 31.4%となります。

認定状況別にみると、要支援者は外出頻度が低く、〈週１回以下〉が 35.0%となっています。

図表２　外出頻度



３　周囲とのつながりの状況について

（１）会・グループ等への参加頻度

会・グループ等への参加頻度について、「週４回以上」、「週２～３日」、「週１回」、「月１～３回」、「年に数回」を合計した〈参加している〉人の割合は、⑦町内会・自治会が34.0%と最も高く、次いで⑧収入のある仕事が 26.0%、③趣味関係のグループが 4.6%、②スポーツ関係のグループやクラブが 21.7%、⑥老人クラブが 12.5%、①ボランティアのグループが 10.5%、⑤サロンなど介護予防のための通いの場が 8.4%、④学習・教養サークルが 7.4%の順となっています。

〈週１回以上〉が 10%を超えているのは、②スポーツ関係のグループやクラブ（14.8%）および⑧収入のある仕事（22.2%）となっています。

図表３　会・グループ等への参加頻度

n=1,465　　単位：%

区　　分	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	0.3	0.6	1.1	2.0	3.8	4.7	10.5	70.8	18.7
②スポーツ関係のグループやクラブ	2.7	6.8	5.3	14.8	4.2	2.7	21.7	61.9	16.2
③趣味関係のグループ	1.0	2.9	4.7	8.6	10.3	5.7	24.6	59.3	16.2
④学習・教養サークル	0.3	0.5	1.0	1.8	2.9	2.7	7.4	72.4	20.3
⑤サロンなどの介護予防のための通いの場	0.9	1.4	1.8	4.1	3.5	0.8	8.4	72.7	18.9
⑥老人クラブ	0.2	0.3	0.4	0.9	1.8	9.8	12.5	69.6	18.0
⑦町内会・自治会	0.3	0.4	0.8	1.5	4.2	28.3	34.0	47.7	18.4
⑧収入のある仕事	14.5	6.7	1.0	22.2	2.0	1.8	26.0	55.6	18.4

※〈参加している〉＝「週４回以上」＋「週２～３回」＋「週１回」＋「月１～３回」＋「年に数回」

（２）就労状況

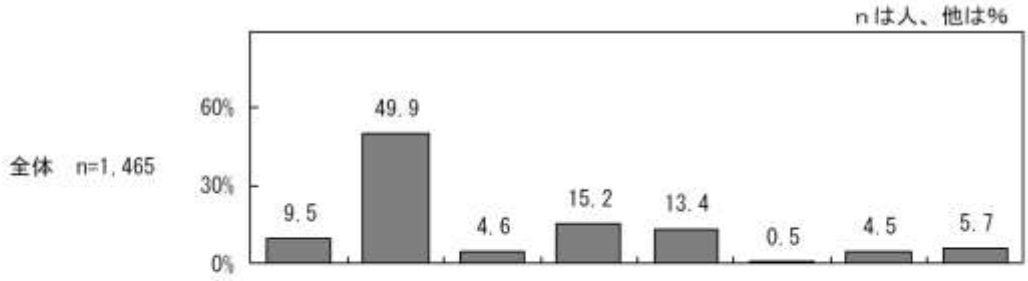
就労状況をたずねたところ、「引退した」が 49.9%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 15.2%、「自営業」が 13.4%の順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「引退した」が 10 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「引退した」が上昇する傾向にありますが、65～69 歳はその他の年齢層に比べて「引退した」が 33.6%の低い割合となっています。

「その他」として図表４－２ の内容が記載されていました。

図表４－１　就労状況（複数回答）



区分		n	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
性別	男性	655	5.0	56.0	6.0	14.5	15.7	0.6	2.3	2.3
	女性	791	13.3	45.0	3.4	15.8	11.4	0.3	6.2	8.6
年齢別	65 ～ 69 歳	226	2.7	33.6	16.8	31.0	14.6	0.9	3.5	0.9
	70 ～ 74 歳	296	7.4	51.7	3.7	20.9	13.2	-	3.7	2.7
	75 ～ 79 歳	450	9.8	53.3	3.1	15.6	14.2	0.9	3.1	2.4
	80 ～ 84 歳	283	12.0	59.7	0.7	4.9	12.7	-	5.3	9.5
	85 歳以上	191	16.8	44.5	0.5	2.1	11.0	-	8.4	18.3
家族構成別	単身世帯	255	10.6	50.6	2.4	16.9	9.4	0.8	6.3	8.2
	夫婦世帯	610	8.9	54.6	5.1	15.9	12.6	0.5	3.1	3.6
	２世帯	505	10.3	46.1	5.1	12.7	15.8	0.4	4.8	6.7
	その他	79	3.8	40.5	6.3	21.5	15.2	-	6.3	7.6
認定状況別	一般高齢者	1,217	8.4	48.2	5.3	16.8	14.7	0.5	4.0	5.2
	事業対象者	129	18.6	55.8	-	10.1	7.0	-	6.2	7.8
	要支援者	100	12.0	65.0	1.0	3.0	5.0	-	7.0	10.0

図表４－２　就労状況（その他、複数回答）

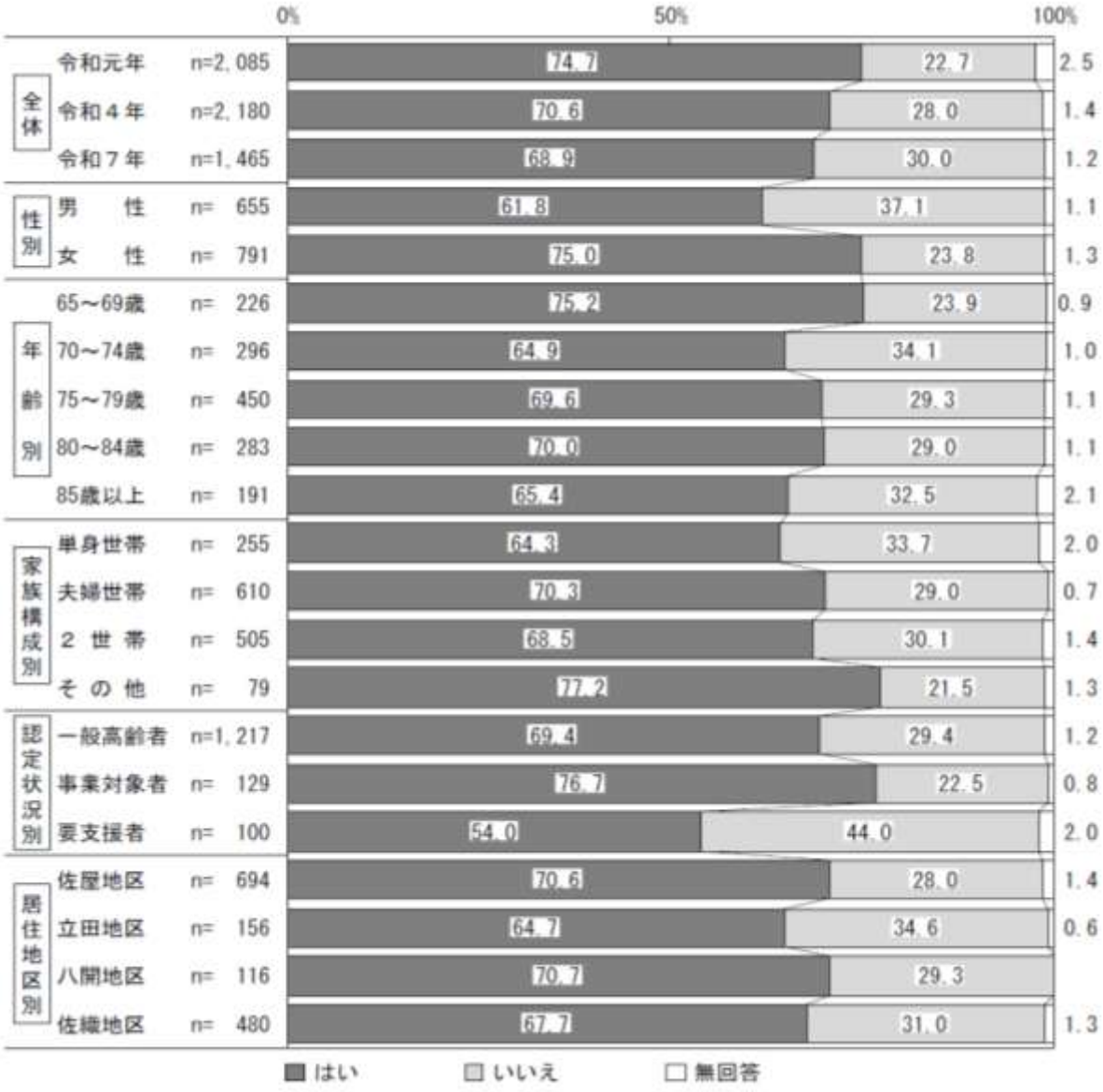
・家庭菜園、畑、農業　14件	・ボランティア
・主婦　５件	・化粧品代理店
・内職　５件	・在宅教会職員
・家事　４件	・趣味の講師活動
・年金生活　４件	・趣味を生かした仕事
・シルバー人材センター　３件	・週６日、１日で100分程度の仕事
・草取り　３件	・駐車場の管理
・会社役員　２件	・家事手伝い

（３）若い人に自分から話しかけるか

若い人に自分から話しかける（「はい」）のは 68.9%となっており、経年でみると低下しています。

「はい」を性別にみると、女性は男性に比べて 10 ポイント以上高くなっています。また、認定状況別にみると、要支援者は 54.0%と低くなっています。

図表５　若い人に自分から話しかけるか



（４）まわりの人との「たすけあい」の状況

まわりの人とのたすけあいの状況をみると、〈該当する人がいる〉は、①心配事や愚痴を聞いてくれる人、②心配事や愚痴を聞いてあげる人および③看病や世話をしてくれる人で90%を超えています。④看病や世話をしてあげる人は84.0%とやや低くなっています。

①～④のいずれの項目も「配偶者」が最も高くなっていますが、①および②の心配事や愚痴については「友人」が「同居の子ども」をはじめとする親族を上回っています。

「その他」として図表６－２の内容が記載されていました。

図表６－１　まわりの人との「たすけあい」の状況（複数回答）

n=1,465　　単位：%

区分	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	該当する人がいる
①心配事や愚痴を聞いてくれる人	58.5	22.3	35.8	31.1	12.4	40.6	1.7	2.9	1.1	96.0
②心配事や愚痴を聞いてあげる人	54.1	21.2	34.8	32.8	14.2	41.8	1.2	5.1	2.5	92.4
③看病や世話をしてくれる人	62.9	28.7	32.2	12.4	1.1	3.8	0.8	4.7	1.4	93.9
④看病や世話をしてあげる人	61.9	23.8	23.5	18.6	2.3	4.6	1.1	11.6	4.4	84.0

※〈該当する人がいる〉＝100%－「そのような人はいない」－「無回答」

図表６－２　まわりの人との「たすけあい」の状況（その他、複数回答）

<①心配事や愚痴を聞いてくれる人> ・仕事関係の人、同僚　８件 ・店（自営）のお客様 ・飲み屋の従業員 ・デイサービス ・訪問看護の人 ・ヘルパー ・サークル仲間 ・ケアマネジャー ・お寺 ・弁護士 ・医者	**<②心配事や愚痴を聞いてあげる人>** ・仕事関係の人、同僚　６件 ・デイサービス　２件 ・店（自営）のお客様 ・飲み屋の従業員 ・サークル仲間 ・仕事上介護 ・職場の子ども
<③看病や世話をしてくれる人> ・ヘルパー ・できるだけ一人でやる ・今まで寝込まなかった　２件	**<④看病や世話をしてあげる人>** ・本人にやらせる ・ＳＯＳが来れば行くが、不明 ・今のところない　２件

（５）家族や友人・知人以外の相談する相手

家族や友人・知人以外の相談相手をたずねたところ、「そのような人はいない」が 44.0%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 23.3%、「地域包括支援センター・市役所」が 15.6%の順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「自治会・町内会・老人クラブ」および「医師・歯科医師・看護師」が、女性は男性に比べて「ケアマネジャー」および「地域包括支援センター・市役所」がそれぞれ５ポイント以上高くなっています。

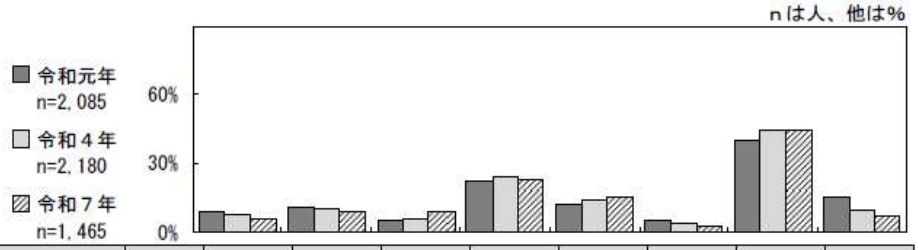
年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「社会福祉協議会・民生委員」および「ケアマネジャー」が上昇しています。

家族構成別にみると、単身世帯はそれ以外の世帯に比べて「社会福祉協議会・民生委員」が高く、「医師・歯科医師・看護師」および「そのような人はいない」が低くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者は「そのような人はいない」が、事業対象者は「地域包括支援センター・市役所」が、要支援者は「ケアマネジャー」がそれぞれ最も高くなっています。

「その他」として図表７－２の内容が記載されていました。

図表７－１　家族や友人・知人以外の相談する相手（複数回答）



区分		n	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体	令和元年	2,085	8.5	10.7	5.2	22.3	12.6	4.9	39.7	15.3
	令和４年	2,180	8.0	10.0	6.2	24.0	13.8	3.6	44.4	9.3
	令和７年	1,465	5.7	8.5	8.5	23.3	15.6	2.9	44.0	7.6
性別	男性	655	9.3	8.1	4.7	26.3	12.5	2.6	46.6	4.4
	女性	791	2.5	8.6	11.9	20.9	18.1	3.3	42.4	10.1
年齢別	65～69歳	226	4.9	2.2	1.8	21.2	10.6	4.9	61.5	2.7
	70～74歳	296	4.7	6.1	5.1	26.0	14.5	4.4	49.0	5.4
	75～79歳	450	7.3	8.2	6.7	22.2	13.3	1.8	46.7	6.9
	80～84歳	283	5.7	11.7	12.7	24.4	21.6	2.1	30.7	11.7
	85歳以上	191	3.7	14.7	20.9	22.5	19.4	2.6	30.9	12.0
家族構成別	単身世帯	255	4.3	13.3	15.7	16.1	18.8	3.9	38.4	7.8
	夫婦世帯	610	6.7	8.5	6.1	23.6	15.4	3.1	46.7	6.9
	２世帯	505	5.7	6.5	6.5	26.5	14.5	2.0	43.2	8.7
	その他	79	3.8	5.1	15.2	21.5	15.2	5.1	48.1	6.3
認定状況別	一般高齢者	1,217	6.1	7.9	2.7	23.7	12.2	3.1	49.1	7.6
	事業対象者	129	4.7	14.0	23.3	17.1	42.6	2.3	19.4	7.8
	要支援者	100	1.0	7.0	62.0	27.0	21.0	2.0	17.0	7.0

図表７－２　家族や友人・知人以外の相談相手（複数回答、その他）

・会社の人、仕事関係の人　８件	・演歌歌手のファンの人	・高齢者支援ＮＰＯ法人
・親戚　３件	・ボランティア	・寺友、住職
・弁護士　３件	・居住支援法人	・電話相談
・宗教の人　２件	・医療従事者	・今のところなし　５件
・姪　２件	・甥	・わからない　２件
・デイサービス	・関係グループ	・相談内容による　２件
・ヘルパー	・近隣の人	

（６）現在の近所の人とのつきあいの程度

現在の地域とのつきあいの程度をたずねたところ、「立ち話をする程度のつきあい」が42.3%と最も高く、次いで「あいさつをする程度のつきあい」が31.4%の順となっています。

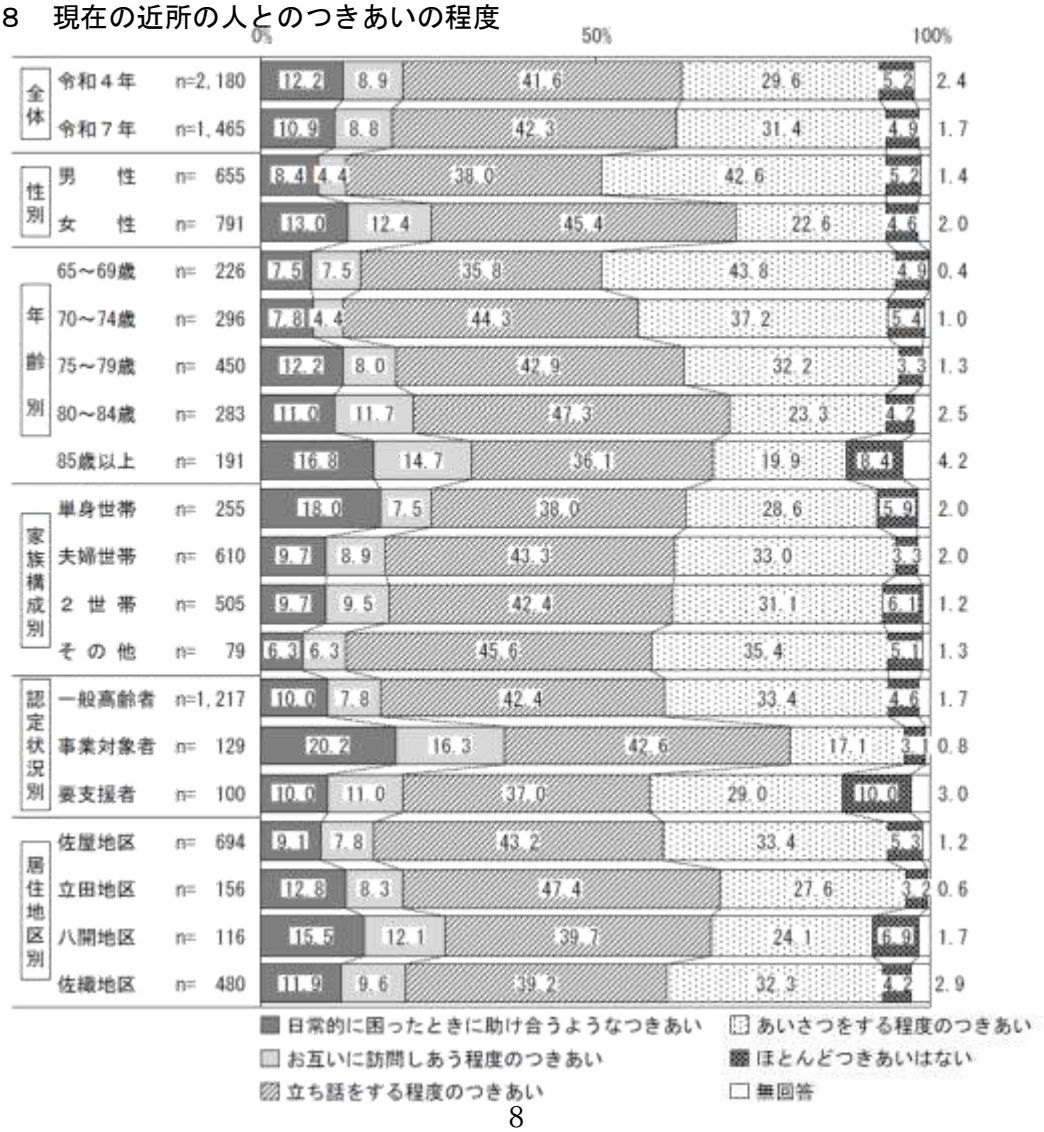
性別にみると、男性は女性に比べて「あいさつをする程度のつきあい」が20.0 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「日常的に困ったときに助け合うようなつきあい」および「お互いに訪問しあう程度のつきあい」が上昇する傾向にあります。

家族構成別にみると、単身世帯はそれ以外の世帯に比べて「日常的に困ったときに助け合うようなつきあい」が高くなっています。

認定状況別にみると、事業対象者は「日常的に困ったときに助け合うようなつきあい」が20.2%と高くなっています。

図表８　現在の近所の人とのつきあいの程度



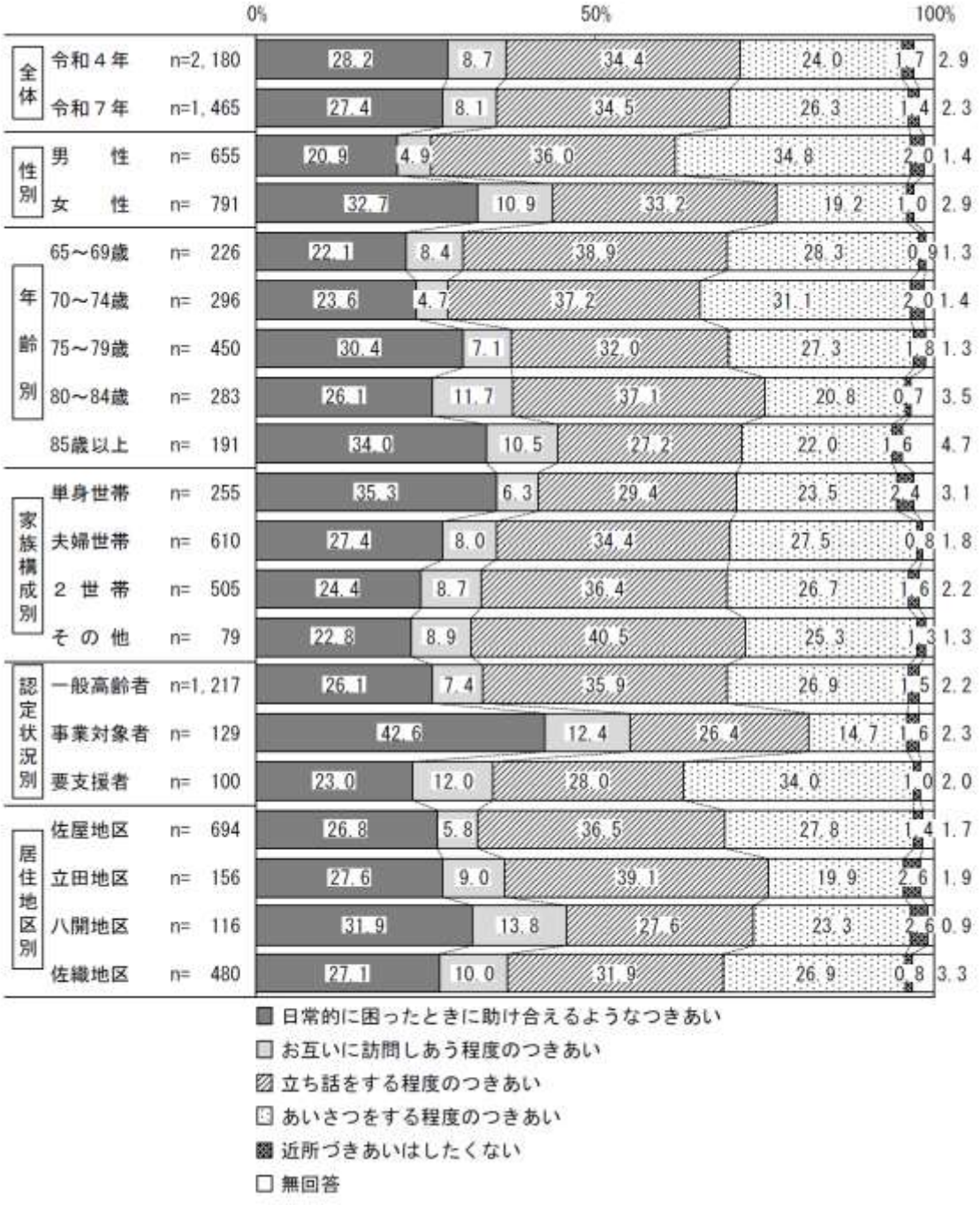
（７）今後望む近所の人とのつきあいの程度

今後望む地域とのつきあいの程度をたずねたところ、「立ち話をする程度のつきあい」が34.5%と最も高く、次いで「日常的に困ったときに助け合えるようなつきあい」が27.4%の順となっています。

性別にみると、女性は男性に比べて「日常的に困ったときに助け合えるようなつきあい」が高く、「あいさつをする程度のつきあい」が低くなっており、それぞれ10 ポイント以上の差があります。

認定状況別にみると、事業対象者は「日常的に困ったときに助け合えるようなつきあい」が42.6%の高い割合となっています。

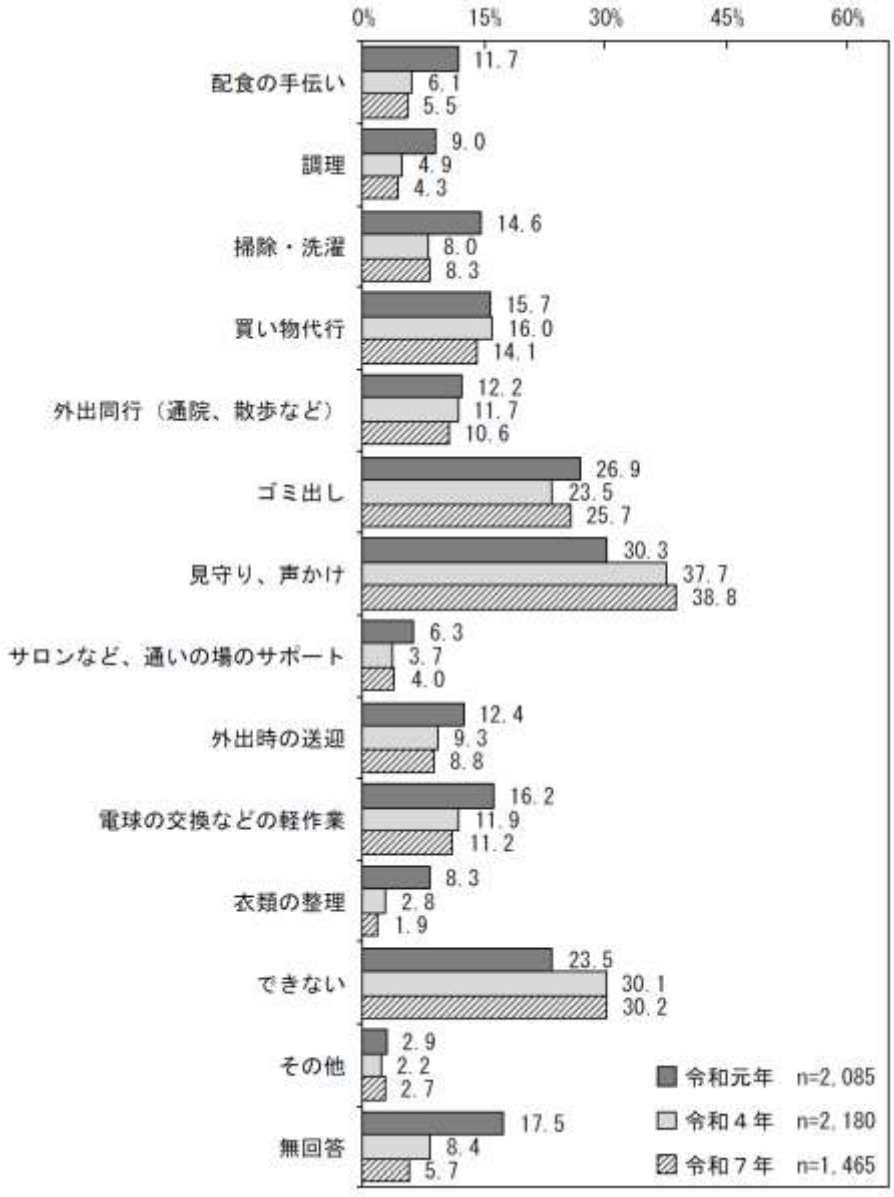
図表９　今後望む近所の人とのつきあいの程度



（８）地域に対してできる支援

地域に対してできる支援をたずねたところ、「見守り・声かけ」が 38.8%と最も高く、次いで「できない」が 30.2%、「ゴミ出し」が 25.7%の順となっています。経年でみると、「見守り・声かけ」が上昇し、「配食の手伝い」、「調理」、「外出同行（通院、散歩など）」、「外出時の送迎」など多くが低下しています。

図表１０－１　地域に対してできる支援（複数回答）



性別にみると、男性は女性に比べて「電球の交換などの軽作業」が 20.8 ポイント、女性は男性に比べて「配食の手伝い」、「調理」、「掃除・洗濯」がそれぞれ５ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、65～69 歳は「見守り、声かけ」が過半数を占めています。

家族構成別にみると、夫婦世帯はそれ以外の世帯に比べて「ゴミ出し」が高く、「できない」が低くなっています。

認定状況別に「できない」をみると、一般高齢者および事業対象者は約 30%であるのに対して、要支援者は 65.0%の高い割合となっています。
「その他」として図表１０－３の内容が記載されていました。

図表１０－２　地域に対してできる支援（複数回答）

単位：ｎは人、他は%

区分		n	配食の手伝い	調理	掃除・洗濯	買い物代行	外出同行（通院、散歩など）	ゴミ出し	見守り、声かけ	サロンなど、通いの場のサポート	外出時の送迎	電球の交換などの軽作業	衣類の整理	できない	その他	無回答
性別	男性	655	1.5	0.9	5.0	12.2	10.5	27.5	38.3	2.0	10.7	22.6	0.9	31.0	2.9	3.8
	女性	791	9.0	7.2	11.0	15.4	10.7	24.1	39.2	5.7	7.5	1.8	2.8	29.3	2.5	6.8
年齢別	65～69歳	226	10.2	5.8	8.4	20.4	11.1	24.8	53.5	5.8	10.2	11.5	3.5	19.9	2.7	1.8
	70～74歳	296	7.4	5.1	9.5	16.9	10.1	22.3	44.3	4.7	12.5	12.2	1.4	26.4	4.1	3.0
	75～79歳	450	5.1	4.0	11.1	14.9	12.7	32.2	41.3	4.4	11.1	14.4	2.2	29.1	2.4	4.0
	80～84歳	283	3.5	4.9	6.0	8.5	10.2	22.6	29.3	2.1	3.5	6.7	1.4	34.3	1.8	9.5
	85歳以上	191	1.6	1.6	3.1	7.9	6.8	20.9	20.9	2.6	4.7	8.4	1.0	44.0	2.6	11.0
家族構成別	単身世帯	255	4.7	3.5	8.2	14.9	10.2	22.4	30.6	4.7	9.4	7.8	1.2	37.3	2.7	8.6
	夫婦世帯	610	5.4	4.3	9.3	15.7	12.1	30.2	41.6	4.3	9.7	15.6	1.8	24.9	2.6	4.3
	2世帯	505	5.7	4.4	6.7	12.5	9.3	23.0	39.8	4.0	8.3	7.9	2.0	33.1	3.0	5.1
	その他	79	7.6	6.3	10.1	10.1	8.9	21.5	40.5	1.3	3.8	10.1	3.8	31.6	1.3	7.6
認定状況別	一般高齢者	1,217	5.9	4.6	9.0	15.3	11.8	26.4	41.3	4.0	9.8	13.0	2.2	27.3	2.7	4.8
	事業対象者	129	6.2	4.7	7.8	10.1	6.2	28.7	33.3	6.2	7.0	3.1	－	29.5	3.1	9.3
	要支援者	100	1.0	1.0	－	3.0	3.0	13.0	15.0	1.0	1.0	－	1.0	65.0	2.0	8.0
居住地区別	佐屋地区	694	6.2	4.9	9.7	14.6	11.1	28.7	38.5	5.6	7.3	11.8	2.4	30.5	1.9	3.7
	立田地区	156	5.8	3.8	7.7	12.8	7.7	20.5	34.0	1.9	12.2	12.2	1.3	31.4	3.2	5.1
	八開地区	116	3.4	4.3	6.9	15.5	9.5	15.5	39.7	5.2	8.6	9.5	1.7	28.4	5.2	10.3
	佐織地区	480	5.2	3.8	6.9	13.1	11.3	25.4	40.6	2.1	10.2	10.4	1.5	29.4	3.1	6.9

図表１０－３　地域に対してできる支援（その他、複数回答）

・自治会　２件
・大工仕事　２件
・野菜、果物等の交換　２件
・話し相手　２件
・草刈り
・軽作業
・農地の保全活動
・服の繕い修理
・仕事を生かした作業
・体調管理が可能なことなら
・頼まれれば内容による
・できないこと以外はできると思う
・できることがあれば、やってみたいと思う
・できることすべて
・視覚障害者でもできる事案があれば
・わからない　４件
・考えたことがない　２件
・あまりやりたくない
・具体的にならないとわからない
・今のところ、近所つきあいはない
・環境状況がわからない人への手伝いは難しい

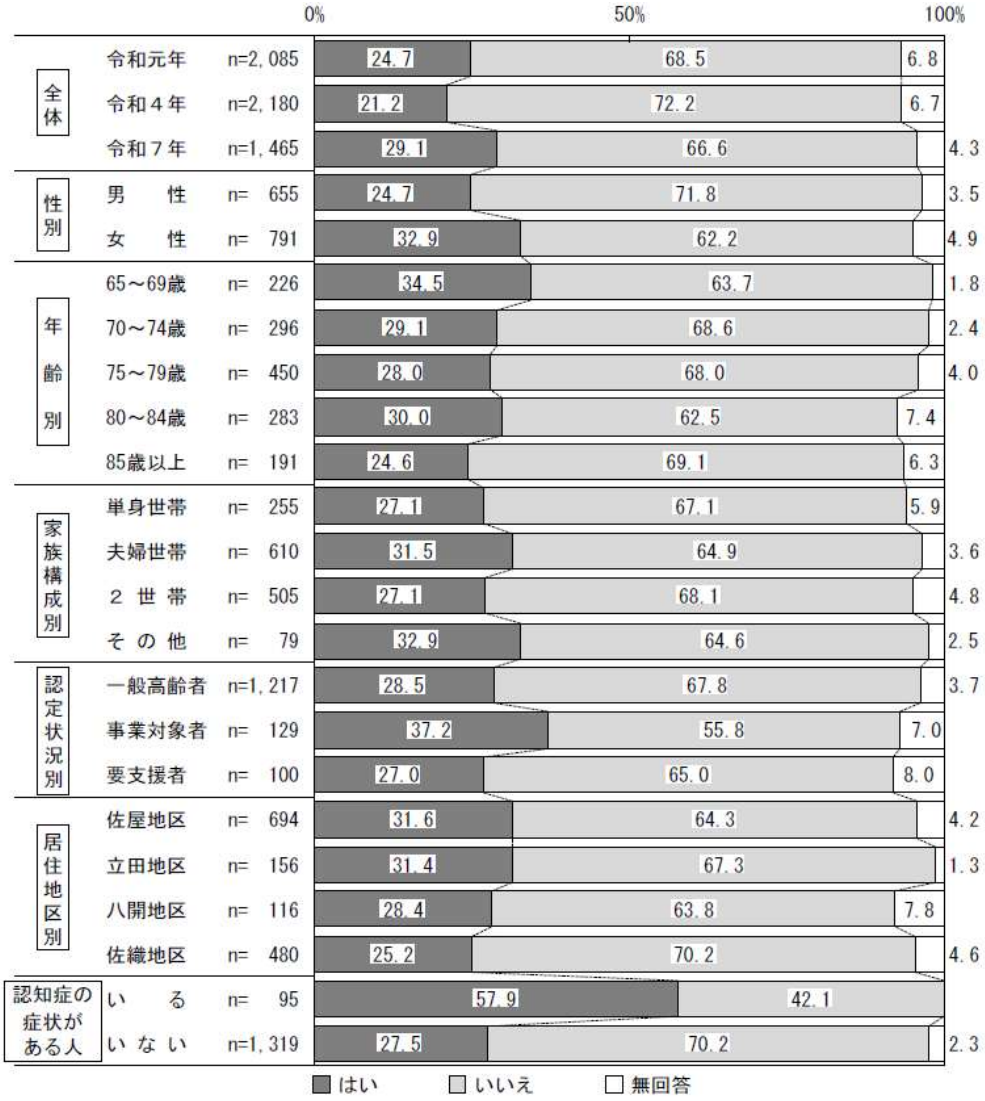
４　高齢者の情報収集の状況について

（１）認知症の相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口の認知度（「はい」）は、29.1%となっており、令和４年度調査と比較すると 7.9 ポイント高くなっています。性別にみると、女性は男性に比べて 8.2 ポイント高くなっています。また、認定状況別にみると、事業対象者は 37.2%と高くなっています。さらに、居住地区別にみると、佐織地区はその他の地区に比べてやや低いことも特徴としてあげられます。

本人または家族に認知症の症状がある人の相談窓口の認知度は 57.9%と高くなっているものの、約 40%が相談窓口を知りません。

図表１１　認知度に関する相談窓口の認知度



（２）認知症の相談窓口

認知症の相談窓口を知っている人に、相談する窓口をたずねたところ、「医師・看護師」が 58.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 52.8%、「市役所」が 28.6%の順となっています。経年でみると、「地域包括支援センター」が上昇し、「市役所」が低下しています。

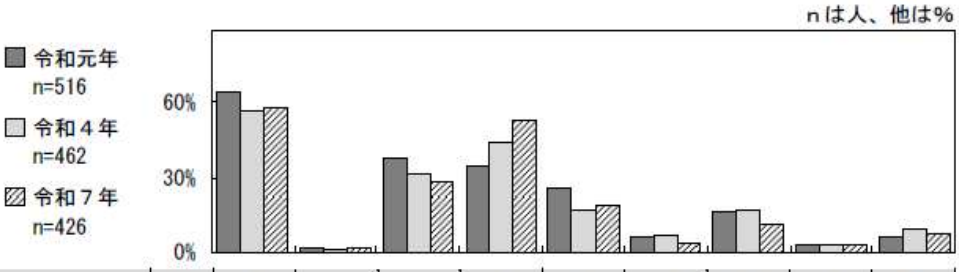
性別にみると、女性は男性に比べて「地域包括支援センター」が 18.2 ポイント高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯は「地域包括支援センター」が、それ以外の世帯は「医師・看護師」が最も高くなっています。

本人または家族に認知症の症状がある人はない人に比べて「医師・看護師」が高くなっています。

「その他」として図表１２－２の内容が記載されていました。

図表１２－１　認知症の相談窓口（複数回答）



区分		n	医師・看護師	歯科医師	市役所	地域包括支援センター	保健センター	保健所	認知症疾患医療センター	その他	無回答
全体	令和元年	516	64.3	1.7	37.6	34.7	25.6	6.0	16.3	3.1	5.6
	令和４年	462	56.7	0.6	31.2	43.9	17.1	6.5	17.1	3.0	9.7
	令和７年	426	58.0	1.6	28.6	52.8	19.0	3.5	11.3	3.3	7.3
性別	男性	162	62.3	1.2	31.5	41.4	18.5	3.7	9.3	2.5	8.6
	女性	260	55.0	1.9	27.3	59.6	19.6	3.5	12.3	3.8	6.2
年齢別	65～69歳	78	59.0	1.3	33.3	59.0	17.9	1.3	7.7	3.8	6.4
	70～74歳	86	55.8	1.2	23.3	66.3	26.7	5.8	17.4	3.5	3.5
	75～79歳	126	63.5	0.8	33.3	41.3	20.6	3.2	7.9	1.6	9.5
	80～84歳	85	50.6	2.4	22.4	50.6	12.9	4.7	10.6	3.5	8.2
	85歳以上	47	57.4	4.3	31.9	51.1	14.9	2.1	14.9	6.4	6.4
家族構成別	単身世帯	69	53.6	2.9	21.7	62.3	14.5	1.4	13.0	8.7	2.9
	夫婦世帯	192	54.7	1.6	32.3	50.5	25.5	5.2	12.5	2.1	9.4
	２世帯	137	64.2	1.5	29.2	51.1	14.6	2.9	8.8	2.2	5.8
	その他	26	61.5	－	19.2	53.8	7.7	－	11.5	3.8	11.5
認知症状がある人	いる	55	63.6	－	25.5	50.9	7.3	3.6	10.9	7.3	7.3
	いない	363	57.0	1.4	29.5	53.4	20.9	3.3	11.3	2.8	7.4

図表１２－２　認知症の相談窓口（その他、複数回答）

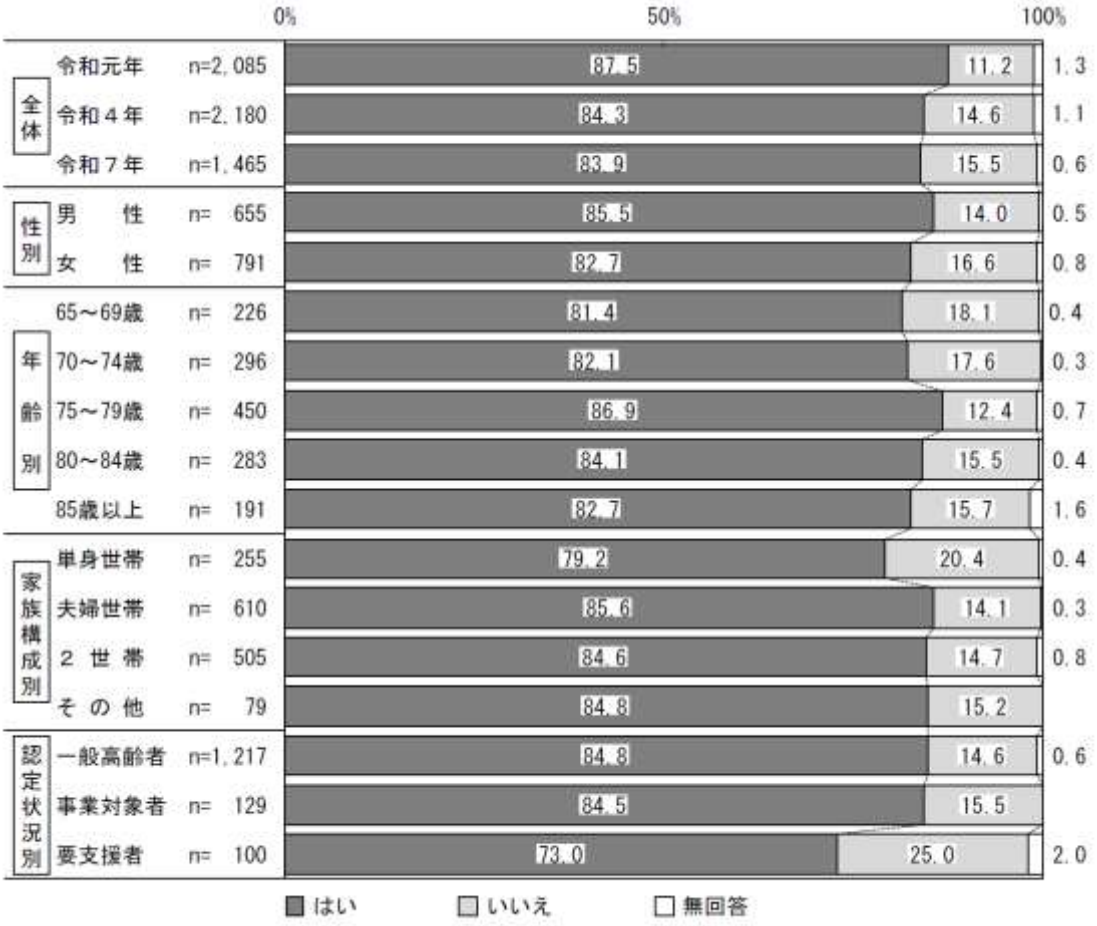
・ケアマネジャー　６件 ・高齢者支援ＮＰＯ法人 ・病院のもの忘れ外来	・職場 ・認知症の人と家族の会

（３）新聞を読んでいるか

新聞を読んでいる（「はい」）のは 83.9%となっています。

「はい」は、家族構成別にみると単身世帯が 79.2%、認定状況別にみると要支援者が 73.0%の低い割合となっています

図表１３　新聞を読んでいるか



（４）スマートフォンの保有状況

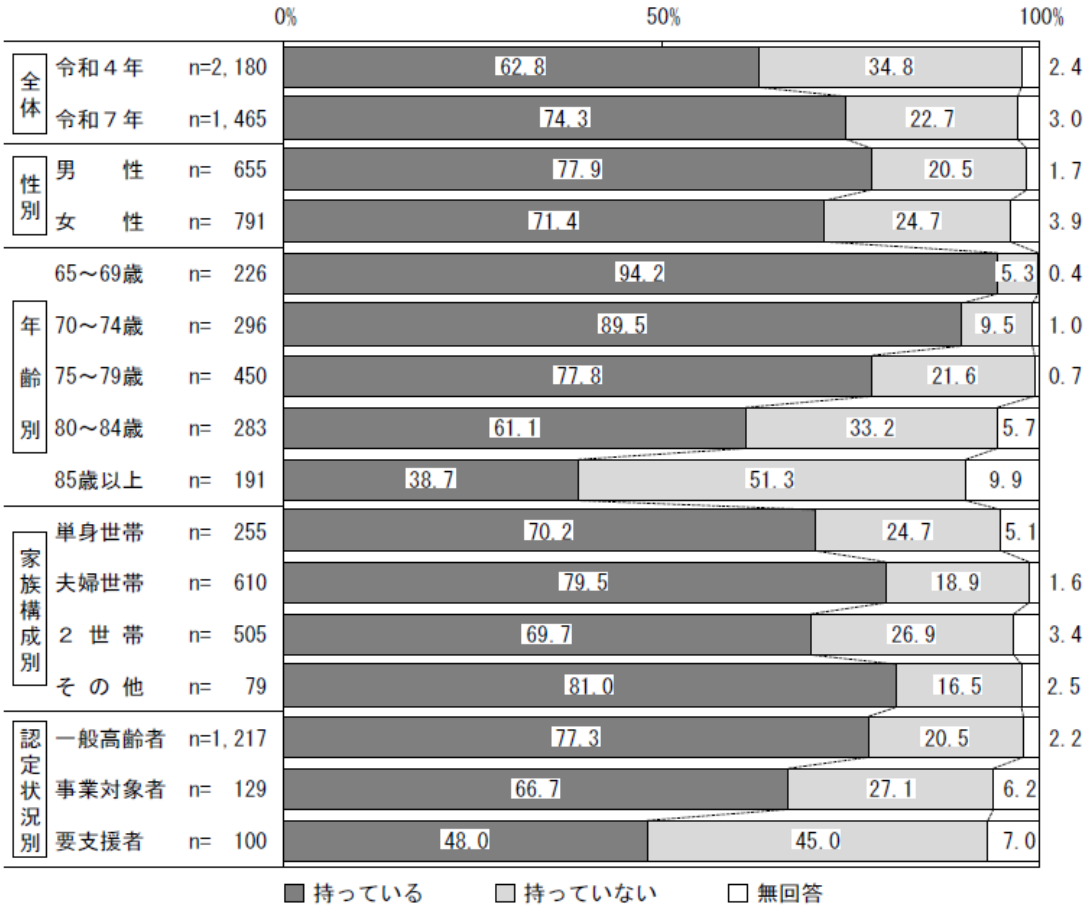
スマートフォンを「持っている」のは 74.3%となっており、令和４年度調査と比較すると 11.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、65～69 歳は「持っている」が 94.2%の非常に高い割合ですが、年齢が高くなるにしたがい低下し、85 歳以上になると 38.7%となります。

家族構成別にみると、２世帯は「持っている」が低くなっています。

認定状況別にみると、要支援者は「持っている」が 48.0%と低くなっています。

図表１４　スマートフォンの保有状況



（５）普段からインターネットを利用した情報収集をしているか

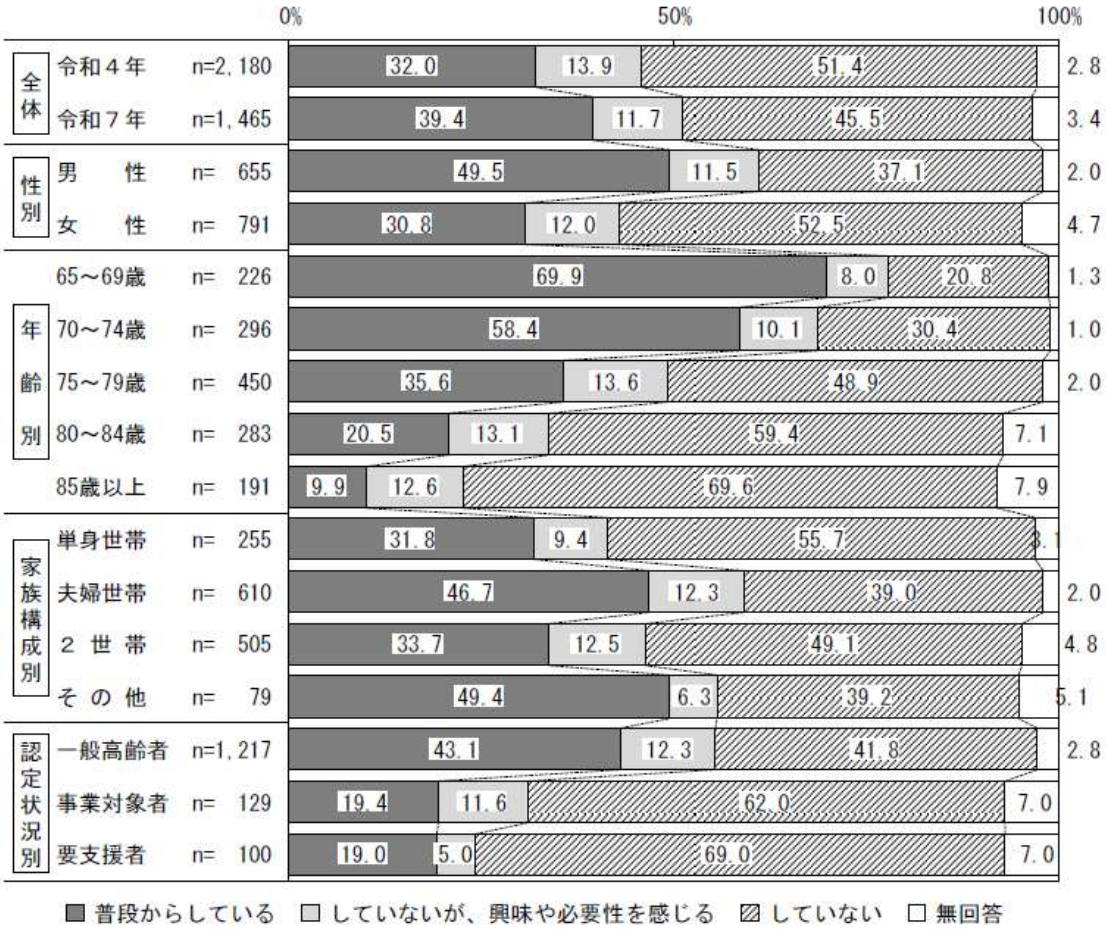
普段からインターネットを利用して情報収集をしているかたずねたところ、「していない」が 45.5%と最も高くなっています。令和４年度調査と比較すると、「普段からしている」が 7.4 ポイント高くなっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「普段からしている」が 18.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「普段からしている」が低下し、75 歳以上になると「していない」が「普段からしている」を上回ります。

家族構成別にみると、夫婦世帯およびその他の世帯は「普段からしている」が高くなっています。

図表１５　普段からインターネットを利用して情報収集をしているか

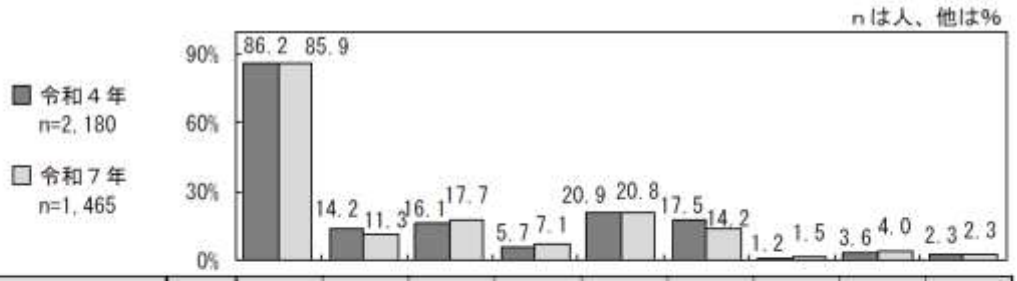


（６）愛西市に関する情報の取得方法

愛西市に関する情報の取得方法は「広報あいさい」が 85.9%と最も高く、次いで「近所の人・知人」が 20.8%、「愛西市のホームページ」が 17.7%の順となっています。
性別にみると、男性は女性に比べて「愛西市のホームページ」が、女性は男性に比べて「近所の人・知人」がそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層も「広報あいさい」が最も高くなっていますが、次いで高いのは、75 歳未満は「愛西市のホームページ」、75～84 歳は「近所の人・知人」、85 歳以上は「家族・親族」となっています。

図表１６　愛西市に関する情報の取得方法（複数回答）



区分		n	広報あいさい	テレビ・ラジオ	愛西市のホームページ	愛西市の公式ＳＮＳ	近所の人・知人	家族・親族	その他	情報を取得していない	無回答
性別	男性	655	81.7	11.0	23.1	7.3	15.1	14.0	1.1	5.2	1.7
	女性	791	89.5	11.5	13.0	7.0	25.4	14.3	1.6	2.9	2.7
年齢別	65～69歳	226	84.5	4.4	30.1	12.4	15.9	11.9	3.1	5.8	-
	70～74歳	296	87.5	9.5	21.3	8.8	15.5	11.8	0.7	3.7	1.7
	75～79歳	450	89.6	12.4	15.1	6.7	23.6	14.0	1.3	3.6	0.9
	80～84歳	283	83.7	14.5	12.0	4.2	25.4	13.8	1.4	3.2	3.9
	85歳以上	191	80.1	14.7	11.0	3.7	20.9	21.5	0.5	4.2	6.3
家族構成別	単身世帯	255	82.7	8.6	13.7	6.7	22.4	6.3	2.4	8.2	2.7
	夫婦世帯	610	89.0	11.8	22.3	8.4	20.8	13.4	1.1	3.0	1.5
	２世帯	505	83.6	12.5	13.1	6.3	21.4	19.8	1.6	3.4	2.4
	その他	79	87.3	11.4	26.6	2.5	12.7	10.1	1.3	2.5	3.8
認定状況別	一般高齢者	1,217	86.8	11.2	19.0	7.4	20.0	14.2	1.1	4.0	1.7
	事業対象者	129	87.6	10.9	7.8	6.2	30.2	11.6	3.9	2.3	3.1
	要支援者	100	74.0	13.0	13.0	5.0	18.0	17.0	2.0	5.0	7.0
スマホ	持っている	1,088	88.1	9.7	21.2	9.4	20.2	12.1	1.7	4.0	0.8
	持っていない	333	84.7	17.4	6.9	0.6	24.6	21.6	0.6	4.5	0.6